



## Botswana Medical Information



2019年2月

### 【報道記事抜粋】

#### ● 飲酒や事故に関わる医療費の政府負担に関して

前政権時代の2017年3月29日に、以下の状況に関わる医療費を政府は負担しないという政策が導入されたが、大変不評であったため、2018年12月に撤回された。

飲酒やシートベルトの不使用で発生した事故、ヘルメットを使用せず発生したオートバイ事故、暴力などを伴う集会や、暴動などの参加によるけが、喫煙による肺がんの発生、アルコールや違法薬物使用による自殺に対する医療費（8日メヒ紙）

#### ● カニエ、モショパにてマラリア発生

1月7日にモシャネンにて7才、8才の兄弟2名にマラリアが発症したと、カニエ地域保健管理チームより報告された。家庭内や500メートル内の人々に対してマラリアの検査をしたが、すべて陰性であり、マラリア感染の経路は現在不明である。

また先週モショパとラナカでも2名のマラリア患者の発生を記録した。サザンディストリクトはマラリアの一般的な発症地域ではないが、ここ数年報告がある。

（12日デイリーニュース）

#### ● メアにてマラリア発生

10年来マラリアの発生がなかったメアにてマラリア4件、死亡事例が1件あり蚊帳の支給がおこなわれた。また昆虫学の専門家による調査も実施された。ボテティウエストでは、12の村と11の家畜ポスト内に屋内残留性散布剤（IRS）の散布が行われた。対象となる15,952建築物のうち94.2%に散布がされた。

（25日デイリーニュース）

#### ● 子宮頸がんスクリーニング

モレポロレのスコティッシュリビングストーン病院にて子宮頸がん、乳がん検診キャンペーンが1週間行われた。

186人の女性が子宮頸がんスクリーニングを行い、136人が頸部視診（VIA法）を受け、50人が細胞診検査を受けた。186人の受診者のうち、23人が前癌病変陽性であり、11人がクリオセラピーを受け、12人がLoop Electro-Surgical Excision（LEEP）を行う予定。スクリーニング中にパピローマウイルスに関する情報も提供された。

（25日デイリーニュース）

●家畜に狂犬病が発生

クマカネにて約 12 頭のブタが狂犬病にて死亡し、140 頭が感染の危険のある状況である。モゴディツァネ/タマガ のサブカウンシルの会議にて、クマカネの農場の 1 カ所にて症状から狂犬病と診断される例があったと獣畜産部門が確認した。ブタは野犬に噛まれたことにより発症したと考えられ、他のブタはワクチンを接種した。(27 日デイリーニュース)

文責：高原 野草 (在ボツワナ日本大使館医務官)